

請願第4号

京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の
引き下げを求める請願書

紹介議員

玉本なるみ 



請願の趣旨

- 1 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担を引き下げることに。
- 2 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の減免制度、傷病手当金制度の新設・拡充をすること。
- 3 後期高齢者が健康で自分らしい生活を維持できるように、健康診査項目の充実、健診補助制度の新設・拡充を行うこと。
- 4 国にたいして後期高齢者の窓口負担・保険料の引き下げを求める意見書、補聴器購入助成制度の実現を求める意見書を提出すること。

請願の理由

京都社会保障推進協議会が西陣地域で行った 2025 年高齢者アンケートの結果では、年金 10 万円以下で暮らす方が 52%、医療と生活の負担感が高いと答えた方が 68%、行政には多くの方が「保険料の引き下げと窓口負担の引き下げ」を求めています。

上記のアンケート結果にもあるように高齢者の暮らしは、異常な物価高騰と低すぎる年金で厳しい生活を余儀なくされています。しかも、イラン戦争による物資の高騰は高齢者の生活を直撃しています。

2026 年 4 月からは「こども子育て支援金」が後期高齢者医療保険料に上乗せされました。2008 年から始まった後期高齢者医療制度は、年々保険料が引き上がり、創設時より 1.2 倍にもなっています。

また、特定健診や保健指導は、健康年齢を引き上げ、医療費の抑制にも効果があることが厚労省などの調査で明らかになっています。糖尿病・心臓病・脳卒中などの生活習慣病の発症や重症化を未然に防ぐために、健診項目（胸部レントゲン検査・心電図・聴力検査・歯科健診など）の拡充、脳ドックなどへの補助制度拡充が必要です。

さらに高齢者の健全な生活を保障するために加齢性難聴の方への補聴器購入の公的補助制度が必要です。

2026 年 8 月 14 日

京都府後期高齢者医療広域連合議会議長

山本 恵一 様

請願者 住所 京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 6F
氏名 京都社会保障推進協議会議長 渡邊 賢治
電話 075-801-2526